

議会事務局 処 理 欄	受付	令和8年5月21日	質問（受付）順位	3番
		10時55分		

令和8年5月21日

阿久比町議会  
議長 竹内 卓美 殿

阿久比町議会議員  
都築 清子  
議席番号 7番

一 般 質 問 の 通 告 に つ い て

令和8年第2回定例町議会において次のように質問したいから通告します。

番号	質 問 事 項	質 問 の 要 旨 （具体的にご記入願います）	備 考
1	倒木被害予防	<p>近年、台風だけでなく、発達した低気圧や季節外れの強風が頻発し全国で倒木による被害が相次いでいます。</p> <p>東京都世田谷区の砧公園では、今年3月には倒木で歩行者が下敷きになるなどの事故が起きました。また先月のゴールデンウィークには強風で倒れた木が住宅の寝室に倒れ込み、天井を突き破る被害も報じられました。倒木は道路の通行障害だけでなく、電線の切断、住宅等の損壊、さらには人的被害に直結する重大な危険をもたらします。</p> <p>また住民が集う公園や学校敷地内の樹木についても、強風時の安全確保が求められています。既に本町ではブロック塀等撤去費補助金交付事業を進めていますが、倒壊リスクという観点では倒木の恐れのある樹木も同様の性質を持ち、住民の安全を守るためには一体的な対策が必要であると考え、以下の点について伺います。</p> <p>①倒木は職員が巡回時に目視で確認しているとのことですが、現在、樹木のどの部分を、どのような基準で確認しているのか具体的に教えてください。</p> <p>②倒木とブロック塀の倒壊リスクを持つ対象を一体的に扱い、相談・点検・診断・予防的な撤去、伐採費用補助・登録業者制度などを含む「包括的な安全対策事業」へ拡充することについての見解を伺います。</p>	

番号	質問事項	質問の要旨 (具体的にご記入願います)	備考
2	読み書きに困難を抱える子への支援	<p>文字の読み書きに限定した困難がある学習障がい(「発達性ディスレクシア」(以降ディスレクシア)といいます。</p> <p>知的能力の低さや勉強不足が原因ではなく、先天性の脳の機能の発達に問題があるとされています。</p> <p>育て方の違いや環境によって起こるものではなく、生まれながらの特性であり、会話や知的能力に問題がないため周囲や家族からも気づかれにくい側面があります。</p> <p>そのため学校生活では読み書きの困難さから授業についていくことが難しく、学習意欲の低下や自信の喪失から不登校に陥るなど二次的な不適応が生じやすい障がいとされています。</p> <p>障がいの中でも最も出現頻度が高いとも言われ、日本人の約7%～8%がディスレクシアに該当すると言われており、計算上では1クラスに3人程度いることとなります。外見からわかりにくく、本人も努力不足や怠慢と思われるのを恐れて困難を1人で抱え込んでいる可能性が高いと考えられます。</p> <p>早期に教師や親など、周囲の理解と適切なサポートがあれば、ディスレクシアの子どもたちの困難は大幅に軽減できることをふまえて、以下の点について伺います。</p> <p>①小中学校における読み書きが困難な児童・生徒の人数を把握されていますか。</p> <p>②保護者、学校、教育委員会が連携して支援につなげるための手段はどのようなになっていますか。</p> <p>③ディスレクシアなどへの理解と専門的な支援に関し、小中学校の教員の研修はどのように実施されていますか。</p> <p>④読み書きの困難は早期に気づき、支援につなげることで大きく改善します。就学時検診や入学当初に簡易スクリーニングを行うことについての見解を伺います。</p> <p>⑤長久手市では、筑波大学元教授である宇野彰氏が行ったディスレクシアの早期発見から支援につなげ成果を上げている「Tsukubaモデル」を導入し、読み書きスキルが確実に向上しているという結果が出ています。本町でも早期発見、早期支援体制を導入することについての見解を伺います。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	